



職種紹介

理学療法士

理学療法士とは、病気や怪我などにより運動機能が低下し、起き上がりや立ち上がり、歩行などといった基本動作が低下した方に対して、運動を提供し基本動作の改善を支援する専門職です。脳卒中、呼吸器、整形外科等の疾患に対して支援をします。病院内の理学療法士業務だけでなく、学生教育や地域住民に対する運動指導を行うなど幅広い活動を行っています。また、多様な資格を有しており、さらに理学療法の成果を論文や学会で発表しています。実績のある理学療法士が地域の皆さまをサポートいたします。



論文

Journal of Physical Therapy Science, Archives of Pediatrics and Neonatology、理学療法とやま、理学療法科学、金城大学紀要

学会発表

日本神経理学療法学会学術大会、リハビリテーション医学会学術集会、日本予防理学療法学会学術大会、リハビリテーション・ケア合同研究大会、全国自治体病院学会、全国国保地域医療学会 他多数

資格

修士(保健学)、修士(リハビリテーション学)、がんのリハビリテーション研修修了、3学会合同呼吸療法認定士、介護支援専門員、認定理学療法士(ひとを対象とした基礎領域)

活動

理学療法学科の学生への臨床実習指導、地域住民への介護予防教室(南砺市)、スポーツ支援事業(富山県)

秋の食材・里芋の和え物レシピ2種

体内の塩分の排出を促すカリウムが豊富な里芋を使った和え物を2種類ご紹介いたします。

里芋は皮をむき、鍋で水から約15分箸がすっと通るまで茹で、マッシャーなどで軽く潰したものを 사용합니다。

バリエーション①: 秋の風味で 里芋のかつお梅和え

茹でた里芋3個(約100g)をほぐした梅干し1個と鰹節5gで和え、醤油や白だし小さじ1/2で調味する。

◆栄養量(1人分)
40kcal 蛋白2.8g 塩分1.2g



バリエーション②: たんぱく質ちょい足し 里芋のサラダチキンマヨ和え

茹でた里芋3個(約100g)に一口大にほぐしたサラダチキン50gとマヨネーズ大さじ1.5(お好みでからし少々)で和える。

◆栄養量(1人分)
115kcal 蛋白6.5g 塩分0.6g



七夕イベント

今年は、待合ロビーですが、七夕飾りを再開しました。短冊に書いた皆さんの願いごとが叶いますように。



アサハイマナーのイベントを行います

日時: 令和3年9月28日(火) 午前9時30分~11時30分
会場: 南砺市民病院 ロビー
内容: ・認知症をテーマにした動画上映
・スタッフとの相談
・パネル展示(9/17~9/30)
※どなたでも参加いただけます。

ドラマ「人生会議」が放映されました



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みを「人生会議(ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」と呼びます(厚生労働省)。

当院では、臨床倫理活動の一環として1年前より「人生会議」に取り組んでいます。その一つとして、ACP地域発信プロジェクトを立ち上げました。誰もが突然、いのちに関わる大きな病気やケガをする可能性があります。しかしながら、命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。そこで、地域住民の方々に元気な時から自らの人生を振り返り、自分が大切にしてきたこと、そしてこれからも大切にしたいことを、ご家族などの信頼する方々と語り合う「人生会議」に繋がることを願い、ドラマを作成しました。脚本作りから配役まで、職員同士、試行錯誤しながら行っています。第一話は、「今日からはじめる人生会議」~もし“あなたが大切な友人(同級生)を突然なくしたとき”~と題して、TSTとなみ衛星通信テレビにて6月に放映されました。続編として、第二話・第三話に取り組んでいますので、次回放映をお楽しみにしてください。



ドラマ「今日からはじめる人生会議」の一場面(となみ衛星通信テレビ提供)



令和3年度 第3回特定行為研修開講式を行いました

南砺市民病院では、平成31年2月に厚生労働省より「看護師特定行為研修指定機関」として認定を受け、平成31年4月より当院で研修を行っています。当院で受講できる区分は「栄養水分に係る薬剤投与関連」「創傷管理関連」の2区分です。



この度3期生2名の受講が決定し、令和3年7月1日に開講式を行いました。病院長から「病院の成長につなげるため人材育成に力を入れている。患者さんの傍にいる時間が一番長い看護師がこの研修を受けることにより、地域医療への貢献や看護ケアの質向上に期待している。」と激励の言葉が贈られました。

研修生からは、「高いアセスメント力を持ち、患者さんに寄り添える看護師になりたい」「学んだ知識を新人看護師やスタッフ教育にも活かしていきたい」等の抱負が述べられました。

研修は、7月から翌年6月までの1年間の研修となります。講師は、院内の医師や認定看護師、認定看護師など合計13名で研修生をバックアップしていきます。

次年度の研修より、「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」の区分追加を予定しています。これからも認定看護師育成を継続し、より多くの知識の習得により看護師の観察力や判断力、アセスメント力の更なる向上が、地域の皆さまにとって安心・安全な医療、看護の提供に繋がるよう精進して参ります。

看護師特定行為活動の取り組みについて

当院では、厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」により認定された認定看護師が、医師からあらかじめ作成された手順書（指示）に従い、認められた特定行為を行っています。当院では現在6名の認定看護師が外来や病棟で勤務しており患者さんの重症化予防や、適切なタイミング

で住み慣れた場所へ退院できるように、研修や実践で身につけたスキルを活かし、日々努力しています。

褥瘡や皮膚潰瘍などの処置を、医師とともに回診し、早期治癒に向けた処置を検討し、実施しています。創傷治癒には栄養管理も重要なため、栄養士とともに栄養評価・改善に向けた介入も積極的に実施しています。



医師

医師

特定行為看護師

特定行為看護師

高校生看護見学



高校生看護見学が7月6日に行なわれました。この事業は、富山県看護協会が主催しており、高校生が看護業務と看護への理解を深め看護職への進路選択の参考にすることを目的として行われています。コロナ禍で昨年は実施できず、今年度は規模を縮小し開催しました。現場見学はできませんが、医療機器を用いて看護師と血圧測定や心電図モニターを装着する体験、ドクターカーの見学を行いました。参加した学生からは、普段できない体験ができたことと喜びの声が聞かれました。

看護の道についての講義の他、看護師との座談会もあり、今後の進路選択や看護師の職業を知る有意義な時間となりました。



ドクターカーの見学を終えて記念撮影



5月から「リウマチ科(木曜午後予約制)」を開設しました。



リウマチ膠原病内科医
あさのりょうこ
浅野 諒子

膠原病とは、本来自分の体を守るべき免疫が誤作動することにより、全身に様々な症状を引き起こす疾患の総称です。関節リウマチ・全身性エリテマトーデス・強皮症・筋炎…といったたくさんの疾患が含まれています。

リウマチ・膠原病というと「治らない病気」というイメージがあるかもしれませんが、関節リウマチでは近年使用できる薬剤が増え、早期発見・治療により良いコントロールができるようになりました。全身性エリテマトーデスなどの膠原病においても、可能な限り早期の正確な診断・治療で内臓へのダメージを最小限に食い止めることができます。

もしも「関節が腫れて痛む」「手指がこわばる」などの症状でお困りでしたら、かかりつけの医師に相談されてはいかがでしょうか。診断の入口の検査などを行っていただければと思います。疑わしい場合には当科にご相談ください。

ご協力をお願いします

受診される際、受付で渡された『受付票』は診察時に必ず医師にご提示ください。
患者間違いを防ぐためご協力をお願いします。

研修医紹介



初期研修医
たかはたけいく
高島 育

皆様こんにちは。初期研修医の高島育です。今年3月に山形大学を卒業し、4月より南砺市民病院で研修をさせていただいております。

はじめて南砺市で暮らしていますが、病院職員の方々はもちろん、地域の皆様を支えられて、毎日とても充実した研修・生活を送ることができています。心から感謝申し上げます。まだ馴れないことも多く、病院内をばたばたと動き回っていますが、あたたかく見守っていただけると幸いです。一人一人の患者さん、ご家族との時間を大切にして、皆様の力になれるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。